

発 言 通 告 書

発言者氏名	小林伸行
発言の会議	平成30年11月29日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

1 横須賀火力発電所跡地の活用法について

- (1) 横須賀火力発電所跡地にJERAが石炭火力発電所を建設しようとしているが、石炭火力はリスクが高過ぎる。市長からもガス火力への転換を勧めてはどうか。
- (2) ガス火力への転換がかなわなければ、IR（統合型リゾート）用地として提案してはどうか。市長の認識を伺う。

2 小学校の「子どもの居場所」への転換について

- (1) 本市では、小学生は放課後に学校に残ることができない。一度自宅に帰ってランドセルを置いてからでないと学校で遊べないようにしてしまっているのはなぜか。教育長に伺う。
- (2) なぜ放課後の図書室を児童に使わせてあげないのか。教育長に伺う。
- (3) 現在、本市では学童クラブや放課後の全児童対策などを手がけているが、本来、まずやるべきことは、放課後の小学校を児童の居場所にしてあげることではないか。市長の認識を伺う。

- (4) 具体的な提案がある。全小学校で放課後の校庭と図書室と可能ならば1余裕教室を全児童対策の場として17時まで設定する。児童の安全を見守る指導員を1～2名配置し、管理責任を市長部局で引き受ける。また学校司書を17時まで図書室に配置し児童の知的好奇心を引き出す仕掛けづくりを担わせる。こうして、晴れた日には校庭で遊び回り雨の日には図書室などで過ごすような子どもの居場所を確保してはどうか。市長と教育長の見解を伺う。

3 公園の機能分担について

- (1) 「誰のためでもある施設は、誰のためにもならない施設」という説もある。武蔵野プレイスの青少年フロアは、あえて20歳以上の立ち入りを禁じたことで、中高生でゴった返す希有な公共施設となった。同様に、既にある街区公園の使い方を見直し、試行的に地域を選んで公園ごとの役割分担をしてはどうか。市長の受けとめを伺う。

4 図書館・美術館・博物館・生涯学習課の市長部局移管について

- (1) 図書館・美術館・博物館・生涯学習課を、文化スポーツ観光部に移管してはどうか。市長の認識を伺う。
- (2) 教育長には、移管に当たっての課題などがあれば伺う。

5 基地跡地の活用法について

- (1) 米軍の撤退や縮小に備え、「基地なき跡」の土地利用計画案をフランスのブレスト市のように策定しておいてはどうか。市長の考えを伺う。